

6月邦楽「現代邦楽名曲選」全出演者プロフィール

明鏡

■神令

1980年東京生まれ。尺八古典本曲の集大成者である「神如道」を祖父とし、神如正、青木鈴慕、川瀬順輔、山本邦山、徳丸十盟の各氏に師事。現代邦楽研究所本科修了。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院音楽研究科（尺八専攻）修士課程修了。現在、洗足学園大学現代邦楽研究所、NHK 学園国立オープンスクール講師、早稲田大学竹友会師範、琴古流協会常任理事、公益社団法人日本三曲協会、虚無僧研究会会員。2009年CDアルバム「アマルガム～尺八とピアノ～」(フォンテック)を発売。2012年ソロCDアルバム「尺八古典本曲 神令」(日本伝統音楽文化振興財団)を発売。



■野澤徹也

洗足学園音楽大学と現代邦楽研究所の三味線講師を勤める。CDは『三味線独奏曲集』(TY サポート受賞作品)の他19枚発表している。2013～2018年のNHK Eテレ「にっぽんの芸能」主題曲と挿入曲の三味線を担当。2021年にNHKFM「邦楽のひととき」にて野澤徹也特集が放送された。2022年には日本現代音楽協会主催でソロリサイタルが全曲初演で開催された。さらに、山本直純作曲『和楽器と管弦楽のためのカプリチオ』にて新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。受賞歴はCD『杵屋正邦作品集』が令和元年度第74回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞、など他多数受賞。野澤徹也三味線合奏団主宰。

